

# Stage Up

2004年

新春号

(1・2月合併号)

生涯学習情報誌  
ステージ・アップ  
通巻 No. 127



「雪つばき」 版画：浪江年博

もくじ

8 7 6 4 2

かわさき市民アカデミー設立10周年記念事業報告  
生涯学習ア・ラ・カルト  
ぐるーぷBOX / いま地域で学校で  
まち・ひと・多面体 / くらし百景 俳壇  
イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団  
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085

TEL 044 (733) 5811 (ステージ・アップ直通) Eメール: [stage-up@kpal.or.jp](mailto:stage-up@kpal.or.jp)



## ■ かわさき市民アカデミー設立10周年記念事業報告 ■

かわさき市民アカデミーは、市民の高い学習意欲にこたえて、専門的で継続的な学習を行う新しい生涯学習機関として平成5年10月に開校してから、平成15年に10周年を迎えました。

これを機会に、アカデミーの歩み・想いを残すため、さらに将来への期待を踏まえ多様な記念事業を行いました。受講生が記念事業実行委員会、市民企画講座委員会、パーティ委員会、記念誌編集委員会、フリーマーケット委員会、学園祭実行委員会などを組織し、平成15年4月から11月の間に、川崎市生涯学習プラザをメイン会場にさまざまな催しを実施しました。

主な催しは、●学園祭(11/15～17)●シンポジウム(11/15ホテル・ザ・エルシーにて)●記念パーティ(11/15・同)●記念フリーマーケット(11/16)●オークション(11/16)●市民企画講座(8/22～9/5全10回、主に野外で開催)●美術講座「西洋美術鑑賞入門」(4/21～9/8全5回、市民フロンティア企画)など。また、10周年を記念してさまざまな本も刊行しました(本の紹介は3ページ)。今号では、盛大に行われた多彩な催しの一部を報告します。

### シンポジウム & パーティ

シンポジウムでは「国際秩序の変容と日本・アジア」をテーマに寺島実郎・日本総合研究所理事長、吉田文彦・朝日新聞論説委員、竹中千春・明治学院大学国際学部教授が討論。現在の国際秩序とはどのようなものなのか、日本とアジアは変容の中でどのような位置に置かれ、どのような課題に直面しているのか、などについて3人がそれぞれの専門の視点から論を展開。250人の参加者は熱心に耳を傾けていました。



続いて行われたパーティには、受講生、OB、講師、職員、行政関係者など、これまでにアカデミーとかわりのあった280人が参加。音楽コースOBによる三味線の演奏で華やかに幕を開けました。このパーティも受講生からなるパーティ委員会が運営しました。「講師のスピーチ」では、設立当初から指導している6人の講師がそれぞれに講座を振り返り、熱心に学習する受講生のエピソードなどを紹介しました。また、「受講生からひとこと」では、受講生代表の二人が、「目から鱗がおちるような学びに出会い自分が変わった」と喜びを語りました。「みんなであたおう」のコーナーでは、地域でボランティア活動をしている会員の指揮に合わせて3曲合唱。終始和やかな空気に包まれていました。

### 93歳現役医師トーク「好奇心こそ元氣のもと」



アカデミー学園祭では、邦楽の演奏・研究発表・展示・講演会など多数の催しがありました。中でも、八王子市内で診療所を開設している93歳の現役の医師、小林清子さんの講演会には多数の市民が参加。小林さんは、72歳から随筆や短歌・俳句を学び、90歳過ぎてエッセイ集「いつ死ぬかわからないから」、歌集「花吹雪」を出版しました。トークでは、自らの歩んできた道に始まり、患者さんとのかわり、政治の動向、医療行政にまで話題が及びました。世相を斬る気炎とウィットに富んだ語りに「好奇心こそ元氣のもと」を実感した1時間半でした。

### オークション～書・絵画など200点

品物は、アカデミー講師のみなさんから提供していただいた絵画や書・写真・書籍など200点以上。品物のリストは事前に公表され、実物の展示も行われました。いよいよオークション当日。書や絵画に人気が集まり、あちらこちらで手が挙がります。競り落とされると、進行役のアカデミー会員が木槌を打ち鳴らし、雰囲気盛り上げていました。



## 市民企画講座「かわさきを知る」

かわさき市民アカデミーでは、地域を探求する「川崎学」の講座がⅠからⅣまで開設されています。ここでは、川崎学入門として横断的に川崎の歴史、自然、文化、経済等を理解し、市民主体のまちづくりをすすめる講座をめざしています。これまで、それぞれのエッセンスを集め川崎について幅広く知るための学びを重ねてきました。

設立10周年を記念した市民企画講座「かわさきを知る」が、平成15年8月22日から9月5日(全10回)の日程で開催され、のべ821人の参加がありました。この講座は、アカデミーの受講生から募った実行委員が、企画から運営まで担当しました。講師は、地域学の研究者、行政関係者、アカデミーOBなど多彩な顔ぶれ。

講座は、座学にとどまらず見学なども盛り込まれた、多面的な内容。8月29日に行われた「川崎の自然・尻手黒川線の樹木に学ぶ」では、アカデミー「みどり学コース」のOBが講師となって、実際に現地を歩きました。



野外を歩き講師の説明に耳を傾ける参加者

また9月3日の講座「川崎の企業と環境」では、午前中、東京電力東扇島火力発電所を見学。午後は、市の巡視船に乗って川崎港周辺へ。船上から世界とつながっている躍動感あふれる川崎港の現在を知ることができました。

参加者からは「思っていた以上に緑の多い川崎を知った」「今まで知らなかった川崎の歴史や文化を楽しく学べた」「ふだん見られないような場所を見学できてよかった」という声が聞かれました。

## Memorial Books

### 『かわさき市民アカデミー10周年記念誌』

(同記念誌編集委員会編・300円)

市民のための専門的継続的な学習機関として全国的にも注目されている「かわさき市民アカデミー」の10年の歩み、設立の経緯、カリキュラム一覧、受講生による多彩な自主活動、将来への展望と期待など、アカデミーのすべてを紹介。



### 『学んで分かち合う人生の喜び—生活系高齢者福祉コース10年の軌跡』

(03高齢者福祉コース編・800円)

国と川崎市の高齢者福祉の歩み、高齢者福祉コースの軌跡。注目はコース修了者の地域での自主活動の記録、生き生きと自在にネットワークを広げる市民の姿が見える。



### 『高度成長の光と影—政治と文学の窓をとおして』

(アカデミー双書No.3 1,000円)

政治および文学の演習に参加した受講生と講師が共同で研究し執筆した。第1部(政治)は雑誌『市民』の内容分析、第2部(文学)は松本清張・司馬遼太郎・藤沢周平と高度成長との関わりに焦点をあてた。



### 『生涯楽習』(かわさき市民アカデミー友の会編・500円)

高齢者を含む多くの市民がアカデミーを拠り所にして真剣に学び、市民同士で語り合い交流の輪を広げ、心豊かな人生を楽しんでいる。その一端が一冊の本になった。



### 『経済論文』

(経済コース伊藤ゼミ編・500円)

「バブル形成 崩壊と日本企業」「国際経済関係の諸側面」の2部構成。戦後の経済再建・高度成長とその終焉を産業の現場で体験した受講生が日本経済再生への期待をこめて執筆。



### 『ブックレット限定箱入りセット』(18冊入り6000円)

アカデミーの講義の一部をまとめたブックレットは、村井靖児著『心を癒す』から始まり、最新刊の日下力著『「平家物語」誕生の時代』まで、この4年間に18冊刊行。10周年を記念して作った全18冊の箱入りセット版。



●はぐくむ●

楽しい催しがいっぱい「青少年の家フェスタ」

—川崎市青少年の家—

川崎市青少年の家では、若者のボランティアグループ「K.Y.W.C.」の企画・運営による「青少年の家フェスタ」を3月に開催します。利用団体が日頃の活動を紹介する発表会や、フリーマーケット、模擬店など楽しい催しが盛りだくさんです。ぜひ、お出かけください。

◆日時 3月7日(日)10時～15時30分



生涯学習ア

フェスタボランティアを募集

「青少年の家フェスタ」の掲示物の作成や会場設営、各種イベントコーナーの運営補助など「K.Y.W.C.」と一緒に、フェスタボランティアとして活動してみませんか。異年齢の仲間とふれあい、さまざまな体験をすることで、すばらしい出会いがあるかもしれません。ふるってご参加ください。

- ・活動日：2月15日(日)13時から18時  
3月6日(土)14時から準備(宿泊)  
3月7日(日)朝から18時まで
- ・募集対象：中学生～30歳ぐらいまで、40人(先着)
- ・申し込み：1月15日(木)9時より電話で受け付けます。なお、お申し込みの際、住所・氏名・年齢(学年・社会人)・性別・電話番号をお知らせください。

申し込み先 川崎市青少年の家 ☎044(888)3588

生涯学習プラザ「陶芸教室」案内

日ごろ何気なく使っている食器や茶器及び花器。しかし、大きさや形そして柄や色具合など満足のいく器にはなかなかめぐり合えません。

もちろん、色や形そして重さなど、どれをとっても申し分のないすばらしい作品に出合うこともあるでしょう。でも値段を見てビックリ、予想以上にゼロの数が多かったり…。そう感じた人は少なくないと思います。そんな方々に、生涯学習プラザの「陶芸教室」をお勧めします。

2日間の「短期体験教室」、10日間又は12日間の「手びねり教室」や「電動ロクロ教室」、そして、教室を卒業した方や、過去に陶芸を経験された方々を対象とした施設・設備を提供する「一般開放」等、バリ

エーションに富んだ内容をご用意しています。

受講生からは「ゆったりと心静かに土と向き合い、作る楽しみや使う喜びがある」と好評です。世界にたった一つしかない自作の器に花を生けたり、ご馳走をのせたり…。生活に潤いを持たせて見ませんか。

平成16年度は「プラザ陶芸教室」水曜コースは4月から、土曜コースは5月から各12回、年3期。「一般開放」木曜・金曜コースは5月から各3日間、年12回を予定しています。詳しくは、下記へお問い合わせください。

問い合わせ 学習推進室 ☎044(733)5894/Fax(739)0085



電動ロクロを使って器を作る受講生



形も色もさまざま個性が光る器ができます

※このコーナーでは財川崎市生涯学習振興事業団の事業や関連施設の紹介をしています。

## ラ・カルト

## ●まなぶ●

## パソコンセミナー 受講者募集

- ◆パソコン入門コース◆対象：パソコン初心者の方  
パソコンの基本操作、インターネットやメールの利用法。
- ◆初級ステップアップコース◆対象：文字入力のできる方  
WORD・EXCELの基礎、インターネットやメールの便利な利用方法。
- ◆WORD中級コース◆対象：WORDの基本操作のできる方  
文章や図表作成などWORDの機能の応用。
- ◆EXCEL中級コース◆対象：EXCELの基本操作のできる方  
複雑な表やデータベース、グラフ作成。

講座日程	コース名	講座No	申込締切日
1月	21(水)・22(木)	パソコン入門	1-C 1/5
	26(月)・27(火)	初級ステップアップ	1-D 1/5
	29(木)・30(金)	WORD中級	1-E 1/8
2月	3(火)・4(水)	初級ステップアップ	2-A 1/13
	7(土)・14(土)	EXCEL中級	2-B 1/17
	9(月)・10(火)	パソコン入門	2-C 1/19
	18(水)・19(木)	初級ステップアップ	2-D 1/28
	23(月)・24(火)	WORD中級	2-E 2/2
	26(木)・27(金)	初級ステップアップ	2-F 2/5

- ★会場…川崎市生涯学習プラザ3階研修室
- ★受講時間…9：30～16：30（昼休憩1時間あり）
- ★受講料…12000円(テキスト代含)。定員は各15人
- ★申し込み…はがき・Fax・電話で。第2希望までの講座  
No、〒、住所、氏名、年齢、☎、Fax、受講目的を明記。  
〒211-0064 中原区今井南町514-1生涯学習プラザ内  
川崎市生涯学習振興事業団学習推進室 パソコンセミナー係  
問い合わせ ☎044(733)5894/Fax 044(739)0085

## ●さがす●

## グループ学習に視聴覚教材の活用を

市内44カ所の公共施設に設置されている利用者端末「ふれあいネット」の中には様々な学習情報が入っています。「情報の提供」の中の「視聴覚教材(フィルム・ビデオ・スライドなど)情報」について紹介します。

登録されている情報は3037件あり、「子育て・情操教育」「青少年関係」「高齢者関係」「スポーツ・レクリエーション」「アニメーション」「文化財・美術」など、34項目の分野からなっています。

それぞれの情報には、教材の内容、貸出条件、申込方法などが明記してあります。グループ学習やPTA活動、子ども会、町内会の催しなどに、是非ご利用ください。

教材を利用する場合は、あらかじめ教育文化会館または最寄りの市民館に団体登録の手続きをしていただき、教材の受け渡しはこれらの場所で行います。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

## ハート &amp; ハーモニー Vol.39

にく あぶら  
筋肉と脂肪を区別する

人間の身体は大きく分けると骨・内臓・筋肉・脂肪・皮膚からできています。体重はこれらの合計ですが、成人になってから比較的容易に変化できるのは筋肉と脂肪です。残念なことに体重が増えたときに「お肉が付いた」と言いますが、果たしてこれは正確な表現でしょうか？

牛肉では赤い部分は筋肉、白い部分は脂肪です。まとめて「お肉」なのですが、買った牛肉が真っ白だったら「お肉」とは呼べないでしょう。人間でも皮下脂肪が分厚くなったのであれば、「脂が乗った」と言った方がより正確です。皮下脂肪が気になると二の腕、臍の横、お尻、太ももなどをつまむことがあります。これらの部位には下に筋肉がありますから、その筋肉を動かしてみれば、皮膚と皮下脂肪が全部つまめているかどうか確認できます。

体重の増減は、日単位以下の短い変動は水分の出入りであって、脂肪や筋肉の増減では週単位の変動をします。比較するには測定の方法を決める必要がありますが、個人では入浴後、起床後、着衣あり、なし、などで十分です。体脂肪計が付属している場合は、食事や運動で体脂肪率の数値が変化するので、説明書を良く理解する必要があります。身体の電気抵抗から計算する体脂肪率は、あくまでも個人で比較するための参考に止めた方が良いでしょう。

体脂肪率を意識することは、体重の中身を脂肪とそれ以外に分けて考えることです。皮下脂肪の量は、個人によって付きやすい部位が異なりますが、皮膚をしっかりとつまむことで実感することができます。筋肉の量を測定することは簡単ではありませんが、定期的に身体を動かしていれば、運動の重さ・軽さとして体筋肉率(?)を実感するはずですよ。

肥満の正確な定義は「身体に過剰の脂肪が蓄積した状態」つまり体脂肪率が高いことです。実用的で誤差の少ない体脂肪計がないので、便宜的にBMI(体重÷身長<sup>2</sup>)が用いられますが、これでは貧弱な身体に脂肪をまとった「隠れ肥満」を見逃します。二の腕の皮下脂肪をつまむ方が想定がつかます。

脂肪を筋肉で置き換えることをシェイプアップと呼びます。体重が同じでも筋肉は比重が重いので身体は引き締まります。運動中に脂肪はエネルギー源よりも荷物になっているので、筋肉の少ない人ほど運動したという実感を早く強く感じます。段階的な目標と身体を動かす楽しみを持てば、内側からの身体改造も着実に進められます。

(スポーツドクター 野田晴彦)



## ぐるーぷBOX

### 「心・技・体」をすこやかに

#### なぎなた・幸クラブ「紫の会」

「エーイ・トオー」、「イエー・イエー・トオー」胴着と袴に身を包んだ女性の掛け声が道場内に響き渡ります。相手の目を見、なぎなたを構え、振り上げる。きりっとした姿勢は何者をも寄せ付けぬ凛々しさを感じさせます。

石川記念武道館で「なぎなた」の稽古に励むのは、川崎市なぎなた連盟（近藤俊朗会長、会員約100人）に所属する幸クラブ「紫の会」の方たち。幸クラブは、昭和54年に川崎市教育委員会主催のなぎなた講習会を修了した方たちが立ち上げ、今年で25年になります。

「紫の会」は、直心影流薙刀術（古流）の伝統的な形を学ぶことを精神としており、会員24人の平均年齢は70歳を超えています。直心影流薙刀術の伝統は古く、元祖は室町時代の末期に遡るそうです。短刀（長さ37cm）を腰に差し、薙刀（195cm）を小脇に構え、木剣（100cm）の構えと相対になり、そして気合の入った声と同時に打ち込みます。その一振り一振りに華麗さと優美さが漂っています。会員のほとんどが20年以上の経験者で「健康とストレス解消が一番です。道場でなぎなたを振る時は何事をも忘れず」とさわやかな

声。指導者の阿部照子さんは「みなさん、週に一度の稽古日が、生活の張りになっているようです。なぎなたを通して仲間意識や励ましが培われています。“間合い”を大切にしていきたいと思います」と語っておりました。

稽古を終え、武道館を後にする会員の方たちの足取りがとても軽く感じられました。入れ替わりに道場内には、小学生を含めた幸クラブの方たちの新たな気合に満ちた声が響いていました。

◆活動日：毎週水曜日13時～16時30分

◆場 所：川崎市石川記念武道館

◆連絡先：☎044（533）4008 本田さん



## いま地域で学校で

### 心をひとつに、ひびけ「稗原太鼓」

#### —稗原小学校—

宮前区にある稗原小学校（宮内玲校長、児童数470人）は、サクラ、ウメ、コブシなどの樹木に囲まれた、静かな環境にあります。

この学校では、8年前の創立10周年記念をきっかけとして「稗原太鼓」と「稗原音頭」が生まれました。それ以後4年生になると太鼓を習い、学校行事のときに演奏するようになりました。今では、地域の催しや高齢者施設などにも出かけ、

その演奏を披露しています。

10月のぬけるような青空のもと、菅生神社の演芸大会で「稗原太鼓」が高らかに響きました。そろいの法被に鉢巻をしめた4年生69人が勢ぞろい。前方に宮太鼓、縮太鼓、桶筒太鼓、鳴りもののチャンチキ、チャッパ、舞台上には平太鼓と地元の竹を用いて作った長い竹太鼓がセットされ、それぞれの持ち場に姿勢を正して立っています。

「地面を自分の足で力いっぱい踏みしめ、まっすぐ伸びていく稗原っ子をあらわしています」と一人が口上を述べると、全員が「ウォー」と元気に呼応します。中心で鉄筒をたたいて指揮をする児童の音頭で、演奏が始まります。あざやかなバチさばきと、躍動感あふれる動きに大勢の観客から拍手がわきました。演奏が最高潮に達するとあちらこちらから「おひねり」が飛んできました。

演奏した子どもたちから「たくさんの人に聴いてもらってうれしい」「たたくことが好き！早く4年になりたかった」という声が聞かれました。保護者の一人は「子どもが自信を持って、得意になっているところがいい。地域に発表の場があるのはいいことだと思います」と話しておりました。

宮内校長は、「竹太鼓は地域の方の協力があったからこそ出来たものです。『稗原太鼓』は地域の人も自慢に思っているようです」と語っていました。

#### 奉 菅生神社演芸大会 納



まち・ひと・多面体

インド女性の識字教育を支援する

「あしたの会かわさき」

「あしたの会かわさき」(長村秀一会長、会員32人)はインドの女性の識字教育や職業訓練を支援している団体で、募金活動や教材の提供、現地との交流などを行っています。

発足は7年前。インドの大学生と交流していた長村さんが、ある会合でアーミン・モデイさん(元桜美林大学教授)と出会ったことが支援のきっかけです。モデイさんは、インドでは約6割の女性が文字の読み書きができないため、貧困と重労働にあえいでいる状況を変えようと、識字教育活動をしている方です。モデイさんの熱意に打たれた長村さんは、友人や知人に呼びかけて会を作り、募金活動を始めました。現在は、インドのマハラシュトラ州ブネー市郊外の10村、人口約18000人に対して、電卓やミシンを送ったり、指導者を派遣したりする活動も行っています。

2003年9月、同会の寄付で初めて建設される「シャンテ(心の平和の意)女性センター」の起工式があり、会員や後援団体の「かわさき市民フロンティア」の有志など10人が現地に行きました。センターは多目的室、キッチン、トイレなどを備えた約80平方メートルの建物で、これまで野外で学習



野外で学ぶインドの女性たち(提供写真)

していた女性たちの教育の場、職業訓練の拠点として活用される予定だそうです。

長村さんは「日本でも明治・大正時代には、インドと似たような状況があり、諸外国の援助で今に至ったという歴史があります。同じ地球に生きる仲間として、少しでも手助けになればと思います。支援した村の子どもが大学に進学するという、うれしい知らせに手応えを感じています」と語っておりました。問い合わせは☎・Fax044(944)7458 長村さん。

■ ホームページ…<http://homepage3.nifty.com/ankk/>

■ 募金受け付け…一口1000円 郵便振替番号00220785608

加入者名「あしたの会希望ドーム募金」

くらし百景

俳壇

麻生区俳句大会 入賞作品

秋高し働く髪を固く結う

上原 芙佐

蝶の来る光の中へ産着干す

谷 文子

子を叱り子を遠くせり天の川

天正のぶ子

夏果ての受話器のねじれ直しけり

田中 幸吉

人形の風邪声なりし腹話術

彦坂 高子

ナブキンの帆や七月のレストラン

伊藤 節子

道問えば彼も旅人鳥渡る

成富 満

気短の亡夫に早めの門火たく

大谷 さく

こぶし咲き安曇野の水走り出す

天正のぶ子

\*麻生区文化協会主催の俳句大会は、十五回を迎えました。当会の専門委員の笠原古畦先生は、文化協会発足以来、郷土の俳句界の振興に情熱を注がれ、麻生区俳句大会を誕生させました。

俳句大会は、結社を越えて広く俳句を志す近隣の愛好者を募り、大会の度にたくさんの応募をいただき、盛会に回を重ねて参りました。物のありあまる時代にあつて、心の豊かさがいかに大切であるかを痛感する昨今、自然を見つめ、万物をいとおしみ、人々の生活を俳句に表現し、発表する催しとして、今後も着実に歩み続けることと思います。

今回の応募句は、五百三十二句でしたが、麻生区在住三十二名の先生方から高評を得た入賞句を紹介します。

俳句大会は、文化協会アカデミー部が担当しております。  
麻生区文化協会(麻生市民館内)

## 情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

## ●川崎の子ども版画展

2月13日(金)～18日(水)10時～18時。16日(月)は休館日。中原市民館ギャラリー。無料。素直な目で見つめ、心に感じたことを版画で表現した川崎市立小学校児童の版画作品=写真。約800点展示。☎(288)2126藤崎小の佐藤さん。



## ●浮世絵展—明治から昭和の近代版画前期・後期展

①1月13日(火)～28日(水)までは前期展で、小林清親・石渡光逸・川瀬巴水など。②2月9日(月)～26日(水)までは後期展で川上澄生・齋藤清・関野準一郎など。川崎区の砂子資料館。無料。10時開館。日・祝日休館。☎(222)0310。

## ●ミニ画廊スナック琴①書「6人展」②パステル③おし花

①は平成15年12月27日(土)～1月31日(土)まで。上田律子他のかたかな文字と漢字の作品。②は1月31日(土)～2月14日(土)。野田美佳の作品。③は2月14日(土)～2月28日(土)。右今孝子・菅原千恵子の作品。展示無料。場所は幸区鹿島田。☎(544)0507。

## ●川崎市教職員音楽会

2月7日(土)13時45分開演、宮前市民館。市内公立幼・小・中・高校の教職員による演奏会。独唱、独奏、合唱他。無料。☎(987)6367片平小の大野さん。

## ●ランチタイムコンサート～新春！ジャズとクラシック

1月21日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は佐山雅弘(ジャズピアニスト)、神谷満実子(歌)。無料。☎(210)3600の川崎市文化財団。

## ●「アピエみやまえ」法人化支援チャリティーコンサート

宮前区に暮らす精神障害者を支援する市民団体「アピエみやまえ」の社会福祉法人化支援のためのコンサート。1月13日(火)19時開演。場所は溝口のとくのかわさき。ピアノと声楽の演奏。曲目は、ショパン「ノクターン嬰ハ短調」「椰子の実」他。2000円。☎(877)1956の齋藤さん。

## ●演劇「踊るご老人」公演

1月22日(木)23日(金)19時半～24日(土)15時と19時半～25日(日)15時。会場は山手線目白駅徒歩5分のアイピット目白。前売り3000円。☎・Fax(814)0503シンクロナイズスタジオの土屋さん。

## ●マザーカウンセリング勉強会

①1月11日(日)9時半～17時「家庭や地域で役立つ勉強会」、場所は高津市民館。初参加の方は無料。②3月6日(土)10時

～16時「カウンセラー1Dayセミナー」、とくのかわさき。受講料3000円。定員40人。☎・Fax(813)2898の柳井さん。

## ●山田太一氏講演会—いのちに関わる話

1月18日(日)14時開演。場所は男女共同参画センター(すくらむ21)入場料は1000円。☎月～金の10時～17時まで☎(434)0253川崎いのちの電話事務局。

## ●点字基礎講座～視覚障害者への理解を深める

1月26日(月)～3月1日(月)の毎月曜10時から12時。全6回。場所は麻生区細山の川崎授産学園。定員25人。費用はテキスト代1050円。☎1月10日(土)まで往復はがきに住所、氏名、年齢、☎を記し〒215-0001麻生区細山1209川崎授産学園「市民交流事業係」。☎(954)5011。

## ●乳幼児の子育てを楽しくする講座

1月30日(金)と2月5日～2月19日の木曜10時、全4回。場所は稲田堤駅から徒歩5分のままとんきっず。「親の心理と子ども」「自分を発見するアサーション」について心理相談員他が助言。参加費各回500円。無料保育あり(要予約)。☎1月20日(火)までにFaxで申し込む。講座名、氏名、☎、保育(子の氏名と年齢)を記しFax(945)8662へ。☎(945)8661のままとんきっず。

## ●朗読(音声訳)入門講習会

2月18日～3月17日の毎水曜13時半～15時半、全5回。多摩川の里身体障害者福祉会館。無料(教材費等は実費)。市内在住および在勤・在学の方20人。☎1月20日(火)必着で往復はがきに住所、氏名、☎、「朗読」と記し、〒214-0012多摩区中野島6-13-5の同館。☎(935)1359。

## ●フラワーデザイナー日体験レッスン

1月26日(月)10時～12時▽13時半～15時半。川崎市民プラザ。プリザーブドフラワーのバレンタインギフトの作成。受講料3500円。定員は午前・午後各10人。ハサミ・カッターナイフ・タオル持参。☎受講料を添えて直接プラザフロントへ。☎(888)3131。

## ●玉川大学公開講座

1月～3月開講の「世界の名作を一緒に」「納得の写真を撮るには」「初めてのホームページ作り」他5講座の受講生を募集。詳細は☎042(739)8895同大学継続学習センター。

## ●市民健康セミナー「家族が肺がんになったら」

2月28日(土)14時から。会場は川崎市中企業・婦人会館。講師は望月篤・聖マリアンナ医科大学東横病院外科副部長。講演後は質問・相談に応じる。看護・処置・薬・福祉の各相談コーナーあり。無料。先着150人。当日直接。☎(722)2121内線522の同病院総務課。

## ●心の生涯学習セミナー

「育てよう 感謝の心 思いやりの心 自立の心」  
2月22日(日)9時50分～15時45分。ホテル・ザ・エルシー。講師は助モラロジー研究所の石崎一馬氏他。費用2300円。☎・Fax(433)9395の川崎モラロジー事務所。